

なぜなぜ
ヒント①

町民は、もっと関わりたい！？行政と町民の協働が鍵

今回の「なぜなぜ大会議」では、課題を深掘りする中で、現状におけるネガティブな要素も明らかになりました。しかし一方で、それらの課題を改善しようと「自分たちで動いていこう！」とする町民の皆さんの前向きな意志も強く感じられる場面が多くありました。

こうした熱意を具体的な行動につなげるためには、仕組みづくりや、じっくり話し合える空間の整備が必要です。現在の中山町には、そうした場や仕組みが十分に整っているとは言えません。こ

の点が改善されれば、町民と行政が協働することが当たり前となり、共に課題に取り組む体制が構築されと考えられます。

例えば、「人が集まるところに情報も集まる」という考え方は、中山町のコンパクトさを活かした情報交換の手段として有効です。こうした中山町らしさを活かした町民発案の取り組みが増えていけば、町の雰囲気もより前向きに変化していくのではないのでしょうか。

なぜなぜ
ヒント②

若者が活躍できる場づくりを

中山町の SNS を活用した情報発信については、「もっと充実させてほしい」という声が多く寄せられました。その中には、「世代によって得手不得手があるのだから、SNS は若者に任せたらどうか」という意見もありました。しかし一方で、「人材とつながらないため、適材適所の人材活用ができていない」という指摘もありました。これは情報発信に限らず、町全体の課題とも言えるでしょう。

若い世代が町の将来を思い描きながら、まちづくりに参画することは非常に重要です。しかし現状の中山町では、若者が町に関わる機会や場所が極めて限られているのが実情です。今回話題となった SNS 発信に加え、イベントの企画や居場所づくりなどを通じて、「若者が活躍できる町」を目指すことが、情報発信力の向上だけでなく、町の活性化にもつながると考えられます。

なぜなぜ
ヒント③

情報発信は「仕組み化」で大幅改善できるはず！

町の魅力を行政だけが発信するのではなく、町民も参加しながらより効果的に伝える手段として、「統一ハッシュタグの活用」や「発信者の育成」など、町民が参加しやすい仕組みを整えることで、情報の届きやすさと発信力を高められるのではないかという意見が多数寄せられました。

また、情報発信だけでなく「魅力の共有」についても、仕組みづくりが必要だという指摘があり

ました。「紹介されるのは同じ話題ばかり」という現状を打開するためには、町民一人ひとりが町の魅力に対してアンテナを張ることも重要です。昨年度のインタビューでも「町の良いところ」は数多く挙げられており、それらがしっかりと外部に発信されるだけでも、中山町の評価は大きく高まると考えます。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第 6 次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第 6 次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総合政策課まちづくり推進グループ・総務広報課防災安全対策室
(中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899)

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025 年 12 月発行〉



「良い町だけれど、魅力が発信できていない」のは、なぜ？

中山町では、現在策定を進めている「第 6 次中山町総合発展計画後期基本計画」及び「中山町公共施設再配置計画」をより良いものにするために、町民の皆さんが日常生活の中で感じている「もっとこうだったらいいのに…なぜ？」という不安や不満に向き合い、その根本的な課題と改善策を考える場として、「なぜなぜ大会議」を今年 8 月に開催しました。このレポートでは、当日のワークショップで議論されたテーマの一つ「良い町だけれど、魅力が発信できていないのはなぜ？」について、参加者から出された意見を紹介します。

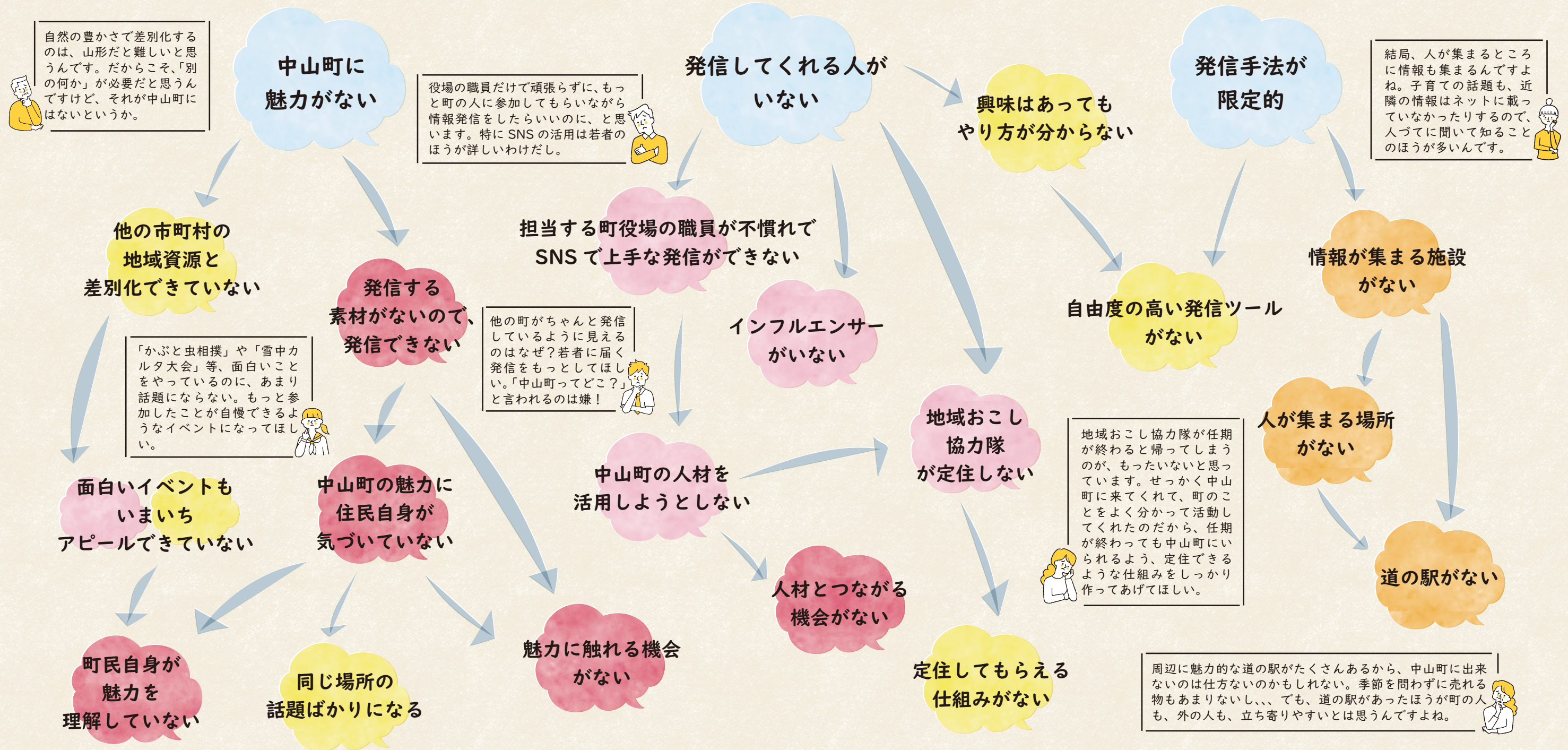
昨年度に実施した町民インタビューでは、どの世代からも「自然が豊かで風景が美しい」「食べ物おいしい」「町の個性を活かした商品やイベントがある」など、日常の暮らしの中で感じられる魅力が高く評価され、「中山町は良いところだ」という実感が共有されていることが分かりました。一方で、「町外へのアピールが弱く、『中山町って何があるの?』『中山町ってどこ?』と言われることが多い」との声も多く寄せられ、せっかくの魅力が十分に発信されていないことが課題として浮き上がりました。

今回の「なぜなぜ大会議」は、町民が改めて主体的にまちづくりに関わっていくことの重要性を再認識する機会となりました。



「良い町だけれど、魅力が発信できていない」のは、なぜ？

空間
の未整備



**若者が集まれる
拠点の整備**
若年層が自由に使える、
活動や発信の拠点とな
るような居場所づくり
が必要！